



第 23 号

令和元年 11 月 1 日 発行

〒673-8588 兵庫県明石市北王子町 13-71
TEL 078-925-0860 FAX 078-925-0878

デザイン・印刷 株式会社 サラト
〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町 172
tel 079-284-1380 <https://salat.co.jp/>

けやき会とは：兵庫県立看護大学卒業生・兵庫県立看護大学大学院修了生、兵庫県立大学看護学部卒業生・兵庫県立大学大学院看護学研究科修了生、在学生、名誉会員、特別会員(旧現教員)を会員とし構成されている同窓会です。



けやき会HPリニューアルオープンお知らせ

けやき会HPをリニューアルオープンしています。

U R L : <http://www.keyaki-kai.com/>

E-mail : info2@keyaki-kai.com

内容の充実、管理情報の一元化とセキュリティの強化、電子媒体の利用によるコスト削減などを目的に、名簿管理や会報発行でお世話になっている株式会社サラトにHP開設を委託しました。コンテンツも充実しておりますので、ぜひご覧ください。

ごあいさつ けやき会 会長 芝田 健 輔



街路樹の葉も日ごとに赤や黄色に彩りを増しているこの頃、けやき会会員の皆様もお変わりなくお過ごしでしょうか。今年の夏は、例年と同じくらいもしくはそれ以上に熱い夏だったように思います。

さて、兵庫県立大学看護学部は兵庫県立看護大学開学より創立25周年を迎えることができ、昨年の11月に開学25周年記念事業を無事に執り行うことができました。盛大に開催できたことを嬉しく思います。ご参加いただいた卒業生、先生方には心からお礼申し上げます。記念事業には、南先生をはじめ数々の先生方にもご出席をいただき、卒業生の参加者の皆様と懐かしい話や近況を語り合う場を設けることができ有意義な時間を過ごすことができたのではないのでしょうか。

例年までは平成という会報でしたが、今回は令和になり初めての会報になります。また令和になり初めての樺まつりでは、おたんこナースの著者小林光恵さんに「わたしが考える看護職の魅力」というテーマで講演していただきました。私も、看護師に就職して新人の頃はヒヤリハットを提出し数多くの失敗をしてきましたが、今となってはその経験が活かされて患者さんや家族の思いに沿った看護を少しずつ展開できるようになってきたように感じます。

私は兵庫県立看護大学の11期生ですので、かれこれ卒業して

から12年近く経過したのかと思うと時の経つ速さに驚くばかりです。大学を卒業して色々な出来事がありましたが、ここ最近私のなかで、大きなイベントは職場の異動です。加古川の病院へ異動になり、この4月から新しい環境で働きはじめました。病院で看護師勤務をしていますが、異動した病院の診療科が180度変わったので、患者さんの疾患は大きく異なり、今まで見たことのない疾患の患者さんを受け持ちはじめ、不安もありましたが、勉強しながら頑張っています。しんどいこともあります。この患者さんは何を考えているのだろう、どうしてほしいのかなど患者さんの立場にたって考えている自分があります。CNAS (College of Nursing Art and Science)、看護とはアートとサイエンスであると、看護大学生の時に教えてもらったことを思い出しました。学生時代にはまだ実感が湧きませんでした。臨床の現場にでると大学で学んだことが少しずつ活かされていることを感じます。卒業生の皆様も患者さんや地域の住民の方の思いに寄り添った看護や活動を実施されていることと思います。

少し思い出話になりましたが、この会報を見ながら、懐かしいCNASのことを振り返ってもらえると幸いです。悩んだり、お時間がありましたら、一度大学へ戻ってきてください。先生方も味方になってくれるはずですよ。

最後になりますが、時代が変わってもけやき会は卒業生の皆様を応援していますので、今後ともよろしくお願いたします。

けやき会主催セミナー

令和元年5月12日（日）

テーマ：「わたしが考える看護職の魅力」

講師：看護師・作家・エンゼルメイク研究会代表 小林 光恵氏

令和最初の櫛まつりに合わせ、小林光恵氏を講師にお招きし、「わたしが考える看護の魅力」と題した特別講演を開催いたしました。当日は天気にも恵まれ、41名の方にご参加いただきました。おたんなース世代の同窓生だけではなく、現役学部生も楽しそうに小林先生のお話を聞いていました。

小林先生は、看護の経験が自身の人生を支えてくれること、看取りの場を共にできること、そして看護職だからこそ相手に委ねていただけることがある、という3点を魅力に挙げ、初めて受け持った患者さんのエピソードから、看護師による美容ケアに至るまで、ユーモアと情熱に溢れたお話を、楽しい雰囲気の中、90分に渡りお話下さいました。

また先生は、大変気さくな方で、講演時間以外にもたくさんお話をさせていただきました。なんと、このキャンパスに来られるのは2回目だそうで、以前南裕子先生と、カフェテリアでご対談されたそうです！

来年度以降も引き続き、櫛まつりに合わせセミナーを開催していきたいと考えておりますので、ぜひお気軽にお越し下さい。皆様にお会いできるのを楽しみにしております。



櫛まつり 体験記

NB17N006 居内 茜

私は、今回の櫛まつりに学生会会長という立場で関わらせて頂き、櫛まつり実行委員長の身を粉にする働きを微力ながらに支えさせてもらいました。微力ながらも様々な業務を担い遂行していく中で学んだことは「一人で行うことは容易くない」ということ、そして「全て感謝すべきことである」ということです。確かに、自分一人で行えば、説明もいらず時間もかかりません。しかし、物事は誰かひとりの力で成り立つことは少なく、成り立たせてはいけない時もあるのだと改めて感じました。

今年度の3回生は8人と少なく、その中で櫛まつりの準備を進めていました。「一人ひとりの負担が大きいし、とにかく各々の業務を遂行していく事が最善だろう」と考え、会長としてはそれぞれを信じ任せていました。しかし、時間が経つにつれて互いの業務内容が関わり合いを持ち始め、取りまとめることが必要になったり、一人では進められなかった業務の分担をしなければならないという課題が生じました。櫛まつり実行委員長が取りまとめ役などを買って出てくれたのですが、時間や人数の面で追いつかず私たちは壁にぶつかってしまったのです。その時、先生方や学務課の方、

学生会を引退された先輩方が温かい手を差し出して下さいました。抱えている量が多くなりすぎ、また一人で抱え込みすぎて手も足も出せないような状態となり、それぞれを気遣う余裕すらなくなっていた私たちにとって、非常に有難いものでした。これを機に、多くの方からご支援やご鞭撻を頂くとともに同級生間でも支えあい、私自身を含めた各々がベストを尽くしたことで無事に今年度の櫛まつりを終えることが出来ました。

「自分一人で行うこと」というのは自身の成長のため、時に必要であると考えます。しかし、一人で頑張る場面であるかどうかを見極めることも必要であると今回の経験を通して学ぶことが出来ました。これから先医療従事者として活動して行く中でも、自分一人で懸命に努力するときと、他者と協同し支えあい達成させる時があると思います。どちらにおいても、誰かが信じて任せてくれていることや、協力してもらえことは感謝すべきことです。今後も感謝の気持ちを忘れることなく、見極めた場面に応じて自身のベストを尽くせるよう今回の経験を糧にしながら成長を続けていきたいと思っております。

CNAS開学25周年記念行事 同窓会

2018年11月17日（土）、シーサイドホテル舞子ビラ神戸にて、けやき会主催の同窓会が行われました。当日は同窓生をはじめ、名誉会員の先生方や、現任の先生方など、多くの方々にご参加いただき、大変盛況のうちに幕を閉じることができました。ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。

「え！〇〇さんも卒業生だったんですか！」と同じ職場の先輩後輩で驚きあったり、「ライン交換しよ～」と一度途切れていた関係性が再び動き出したり、お子さんの話で盛り上がったりと、同窓生同士で盛り上がる声や、懐かしの先生方の前に列をなして楽しそうにお写真を撮らている姿などを拝見し、大変嬉しく、とても温かい時間を過ごすことができました。CNASの絆が今後30年、40年と続いていきますことを、皆様の健康と共に祈念し、次にお会いできる日を、心待ちにしております♪



CNAS開学25周年記念行事 同窓会 平成30年11月17日 於シーサイドホテル舞子ビラ神戸



CNAS開学25周年を終えて —健康ニードを探索し新しいサービス展開へ

兵庫県立大学看護学部 学部長 坂下 玲子

2018年11月17日、CNAS開学25周年記念式典が行われました。CNASとは、College of Nursing Art & Scienceの略です。一般的に大学はScienceで成り立っていますが、そこにArtを入れたところに設立当時の先生方の熱い思いがあります。Artとは目に見えない精神を具現化する技術のことです。ArtとScienceが統合されはじめて、人の内なる力を引き出せるのです。

第一部式典では、兵庫県立看護大学学長 南裕子先生の「この時代に問われる看護の本質」という記念講演がありました。続くシンポジウム「過去・現在・未来へのメッセージ」では、同窓生の武用百子さん（和歌山医科大学病院）、住岡まどかさん（住岡母乳 & 育児相談所）、佐藤政枝さん（横浜市立大学）、土

井直恵さん（国境なき医師団）の活躍が紹介され看護の未来が語られました。

第二部は、けやき会主催で同窓会がホテル舞子ビラで開かれました。所縁の人々が集まり懐かしい顔に会えた楽しいひと時でした。この機に、卒業生・修了生に連絡係をお願いし連絡網を再構築することができました。

ところで、病院は感染症が猛威を振っていた時代に作られたもので、慢性疾患（いわゆる生活習慣病）には対応できていません。今こそ、人々の健康ニードを探索し新しい看護サービスを創造すべき時です。ご賛同いただける方は南先生が世話人代表をされている看護未来塾をのぞいてください。<https://www.kangomirai.com/>

当日ご参加いただいた同窓生からコメントいただきました！！

1期生 柴田明日香さん ～市立豊中病院～

けやき会のみなさま、初めまして。私は、学部1期生、大学院7期生で、現在老人看護専門看護師として急性期病院で働いています。この度は、記念すべき開学25周年の式典&CNAS同窓会に参加し、懐かしさと身の引き締まる思いで何度も何度も目頭が熱くなりました。

1期生の参加者は20数名も！夜勤明けや遠方の方も駆け付け、予想以上に懐かしい顔ぶれに出会えました。またこの機会に50名を超える同期にLINEでも繋がり、Liveで写真配信、“変わってな～い！”と大歓声でした。そしてCNASトークでは、入学早々に水漏れしたカフェテリアの話題で始まり、眠気に勝てなかった〇〇授業や学祭でのハプニング、実習、大学に泊まった時の話に盛り上がりました。ゆっく

り話すことは叶いませんでしたが、“今でも看護が好き”で、“自分らしく極め続けている”、そんな中間の存在がとても誇らしかったです。

また、記念講演での南先生で印象的だったのがCNAS魂のことです。型にはまった看護ではなく、一人一人の感覚を大切に看ることができる看護魂、そして社会の中で勇気をもって発言できる自律した看護魂を育てていただいたのだと拝聴し、身の引き締まる思いがしました。

上手くいかず、不安や焦りで押し潰されそうになることもあります。再会した同期の仲間に相談したり、研究会や新たにできた“尼カフェ”での集いに参加したりと、リフレッシュしながらCNAS魂を磨いていきたいです。

10期生 小枝美由紀（旧姓：藤本）さん

私は今、神戸市西区にある、たまつ訪問看護ステーションで訪問看護師をしています。「懐かしい人たちに会ってほっとできたらいいな。」そんな思いで今回、同級生の友人と共に25周年記念事業に参加しました。

久しぶりに講堂で講演を拝聴し、同窓会では、9名の同級生、お世話になった先生方との懐かしく心地のよい時間を過ごすことができました。大学時代に戻ったような気持ちで、私の原点はやはりここにあるのだと再認識した1日でした。

卒業以来会う機会の無かった同級生と再会できたのもさることながら、今回の25周年記念事業をきっかけに、兵庫県立看護大学10期生のグループLINEを作ってくれたメンバーがいて、今、55名の同級生と

つながっています。先生方が連絡係に送ってくださる情報の共有や、それぞれ今活動していることの情報共有を行う中で、卒業してから十数年、みんな様々な場所で活躍しているのだと知ることができて嬉しくもあり、また、自分も頑張ろうと思えます。

今回このような機会を作ってくくださった先生方、同窓会の皆様方に感謝申し上げます。南先生が講演会で仰っていたように、「看護師さん」ではなく、「小枝さん」と呼ばれる訪問看護師を志して、これからも頑張ります。



また、同窓会に参加してくださった20期生の卒業生からはこんな近況報告が届きました♪

20期生 中須賀唯さん

けやき会のみなさま、こんにちは。私は大学卒業後、検診センターで3年間保健師として勤務し、現在は養護教諭として高等学校で勤務しています。学校現場で働いてからまだ数ヶ月しか経っていないということもあり、一日過ぎるのがとても速く感じています。

以前の職場では、1対1で対象者と関わることが多かったのですが、学校という現場では必ずしも対象者が一人ではなく、一人～数百人と状況に応じて対象者数が異なります。そのため、集団でのニーズを把握すること、集団の中の個のニーズを把握することが求められる立場であると日々実感しています。学生時代に学んだ“根拠は何か”を考え続ける毎日です。

養護教諭の日々の職務としてはケガや体調不良時の応急処置だけでなく、生徒の相談に耳を傾けたり、生徒が毎日安全に学校生活を送ることができるように設備の点検や環境衛生検査を行うこと、また教員として生徒を指導することもあります。

大学時代に学んだ“生涯学び続けること”、“根拠は何か自分自身に問い続けること”を実践していきながら、養護教諭を一生の仕事として続けていきたいと思っています。

お知らせ

内布敦子先生『Final Lecture』のご案内

けやき会会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。
内布敦子教授におかれましては、本学の治療看護学・がん看護学研究室の教授として、CNAS開学当初より教育・研究・学部運営にご尽力されましたが、2020年3月をもって看護学部の教授職を退かれます。つきましては、下記のとおり内布敦子教授の『Final Lecture』を開催いたします。卒業生・修了生の皆様、是非この機会に懐かしの明石キャンパスへ足をお運びいただき、内布敦子先生とのひと時を

お過ごしください。尚、内布先生は、2020年4月から引き続き本学副学長として勤務されます。

日時：2020年3月13日（金）13:30より

場所：兵庫県立大学明石キャンパス

*終了後、茶話会を予定しております。

*詳細につきましては、後日大学HPおよびけやき会HPよりご案内させていただきます。

幹事：治療看護学・がん看護学研究室

丸橋 裕先生『最終講義』のご案内

本学看護学部・専門関連・哲学系の教授として長年勤められました丸橋裕先生が、2020年3月をもって定年退職されます。つきましては、下記のとおり最終講義を開催いたしますので、たくさんの卒業生・修了生の皆様のご参加お待ちしております！

日時：2020年2月21日（金）14:40より

場所：兵庫県立大学明石キャンパス

*詳細につきましては、後日大学HPおよびけやき会HPよりご案内させていただきます。

学術情報館からのお知らせ

学術情報館では、卒業生・修了生の学習・研究活動を支援するため、下記のサービスを提供・試行しています。
(1) 昨年よりMedical Onlineの文献検索性ID、パスワードを提供しています（毎年更新）。このID、パスワードを利用することで、アブストラクトの閲覧にかかる費用（108円/件）が無料になります。
(2) 学術情報館に訪された方に、医中誌Webの文献検索環境を提供しています。なお、検索結果でMedical Online、ProQuest掲載文献があれば、複写サービスを提供する予定です（窓口で申請が必要です。試行のため都合により変更・中止する場合があります）。
(3) 学術情報館に訪できない遠方の方にMedical Online、ProQuest掲載文献の複写サービスを提供する予定です。文献複写に必要な情報等「雑誌名、巻、号、発行年月、論文

タイトル、著者名、開始ページ、終了ページ、郵送先、卒業・修了年度、氏名、けやき会会費納入の有無」を、電子メールに記載して申請してください。1文献あたり上限15枚、一人年間10回が目安ですが、都合により変更・中止する場合があります（検索はご自身で行ってください。ProQuest掲載文献は、学術情報館HP中のPubMedから検索することでアイコン表示されます）。

お問い合わせは laic-akashi@lib.laic.u-hyogo.ac.jp までご連絡ください。なおこれらのサービスは、卒業生・修了生以外の方（一般利用者）は利用できません。

明石看護学術情報館長 片山貴文

成人看護事例検討会

成人看護学では、病いをもった患者様やご家族への看護支援について、事例を通して考えるための事例検討会を、年間4回開催しております。

日々の実践の中で経験を通して感じたこと、学んだことなど、事例を振り返るだけでなく、そこにはどのような看護があったのか、どのような看護ができたらよかったのかを一緒に考える機会となればと考えております。

看護の場で頑張っておられるけやき会の皆様のご参加をお待ちしています。

今年度の残りの開催予定は下記です。

日 程：第3回 2019年12月14日（土）

第4回 2020年3月14日（土）

時 間：13：00～15：00

場 所：兵庫県立大学 明石看護キャンパス

参 加 費：100円

申込み方法：成人看護学のホームページ（QRコード）よりお申し込みになれます。

ホームページ：http://www.dosokai.ne.jp/u-hyogo.seijin/

連絡担当：成人看護学 城宝 環

Eメール：tamaki_joho@cnas.u-hyogo.ac.jp

TEL：078-925-9444



精神看護領域からのお知らせ

精神看護勉強会

精神看護勉強会は、精神看護の実践家の方々とともに、実践の奥深さを学びあう事例検討会です。

2019年度開催予定（第108回、第109回は終了しました）

第110回勉強会 2020年2月29日（土）13:30～16:00

対 象 看護師（精神医療、精神看護に携わる）
（他の医療従事者も含む）

会 場 兵庫県立大学明石キャンパス（看護学部）

参加費 300円（お茶・資料コピー代）

精神看護CNSの集い

精神看護CNSの集いは、精神看護専門看護師の事例検討会です。グループ・スーパービジョンの有意義な機会となっています。

2019年度開催予定（第28回、第29回は終了しました）

第30回勉強会 2020年2月29日（土）10:00～12:00

対 象 精神看護専門看護師教育課程を修了された方

会 場 兵庫県立大学明石キャンパス（看護学部）

参加費 100円（お茶・資料コピー代）

申込方法

メール、またはFAXにてお名前・ご所属・連絡先を明記のうえ、お申し込みください。なお、勉強会中に知り得た個人情報の守秘義務が生じますことを、ご承諾ください。

お申し込み・お問い合わせ先

兵庫県立大学 看護学部 担当：武内、高橋
〒673-8588 兵庫県明石市北王子町13番71号

Web：http://www.pmhn-cnas.jp

TEL / FAX：078-925-9431 Email：pmhn.cnas@gmail.com

地域看護領域からのお知らせ

ひょうご保健師研究会

ひょうご保健師研究会は、現在様々な場で保健師として働いている方を対象に、参加者相互の研鑽を図ることを目的に平成20年度に設立された会です。定例研究会を年3～4回行っています。

「こんな保健師になりたい！」と保健師になったのに、現実の壁に阻まれ道に迷い始めた方、「今、頑張っていること」をみんなと共有したい方、保健師の原点に戻るヒントや明日からの活動の光を一緒に探しませんか？

地域看護領域ではHPを開発していますので、生涯・広域健康看護講座Ⅱ 地域看護領域 HP <http://chiiki-cnas.jp/>をご覧ください。

<2019年度日程予定>

第3回 2月8日（土）13:30～15:30

地域看護同窓会（ちいNAS）

保健師はもちろん、地域看護に関心がある卒業生（ゼミ生でなくても可）を対象に年1回（毎年9月ごろ）同窓会をしています。懐かしい学び舎や学友に会いに来ませんか？

教員一同、お待ちしております。

老人看護領域からのお知らせ

1) 兵庫・老人看護研究会（本学にて開催）

【2019年度の開催予定】

7月13日（土）14時～16時：終了

11月9日（土）14時～16時

2020年3月14日（土）14時～16時

*原則、本学大学院の修了生を対象としています。希望があれば、高見（miho_takami@cnas.u-hyogo.ac.jp）までお問い合わせください。

2) 認知症看護事例検討会（本学にて開催）

【2019年度の開催予定】

7月6日（土）10時半～16時：終了

12月7日（土）10時半～16時

2020年3月7日（土）10時半～16時

*兵庫県看護協会の認知症看護認定看護師コース修了生が主体となって運営しています。臨床の方々のご参加も歓迎しています。希望があれば、高見（miho_takami@cnas.u-hyogo.ac.jp）までお問い合わせください。

会報発行協力金協賛者一覧

(2019年9月11日 現在)

令和元年

名誉会員

片田 範子
野並 葉子
山本 あい子

特別会員

鵜山 治
坂下 玲子
吉本 祥生

平9

伊藤(上野) 恵
山本(加藤) 久恵

平10

得平(新川) 佐織

平11

末永(大谷) 美紀子
杉本 昌子
大森(田中) 美和

平12

住岡(西村) まどか

平13

畠中 紘子

平16

野長瀬(谷口) 真由美
青木(中地) 陽子

平17

大谷(山田) 智恵

平18

水野 健司
宮城 十子
春藤 広実
渡邊 佳世

平19

山村(福本) 愛

平23

池田 裕美

平24

南出 きよか

平25

栗本 明子

平26

伊藤 麻里子

平29

佃 里紗

平31

松本 優香

平11博前

岩切 真砂子
三輪(大崎) 富士代

平12博前

成田 康子
森 菊子

平13博前

入江(松森) 直美

平14博前

草場 直子
松枝 美智子
嶋田(三浦) せつ子

平15博前

鈴木 智津子
長尾 匡子

平17博前

仲村 直子

平25博前

濱上(甲木) 亜希子

平29博前

村上 志保

平14博後

渡辺 かづみ

平15博後

寒河江(野澤) 美江子

平17博後

呉 小玉
近藤(佐藤) 麻理

平21博後

工藤 美子

平23博後

鳥越 郁代

平30博後

渡邊 聡子

一般団体

兵庫県立大学
CNAS 陸上部

皆様ご協力ありがとうございます。会報の一部に使わせていただきます。

けやき会からのご案内



2019年度 けやき会 新役員名簿

会長	芝田 健輔	
副会長	奥村 和代	武内 玲
書記	岡邑 和子	栗村 健司
会計	徳原 典子	犬山 知子
庶務	濱上亜希子	高橋美沙子

2019年度より、栗村健司さんが新たに役員となりました。新体制で役員一同頑張っておりますので、皆様どうぞよろしくお願いたします。



編集後記

皆様こんにちは。けやき会庶務の濱上です。

令和最初の会報いかがでしたか？今回は25周年の同窓会を特集しました。会報をみて、「次の同窓会には参加しよう」と思ってくださった方が一人でも多くいらっしゃったら、とっても嬉しいです。

さて、この度の改元は皆様にどんな意味をもたらしたでしょうか。改元前と変わらず世界は時に目を瞑りたくなるくらい不安定で、目の前の生活に必死で、11時がただ12時になっただけのような、そんな感覚の中、ふとなんだか新鮮で、そして平成の時代に対する感謝が意味もなく湧いてくる、私は、そんな感じでした。きっと「令和元年」の硬貨を手に入れると「よっしゃ！」と言っていると思います(笑)。西暦にはない「なんだか分からないけど、やっぱりちょっと特別な感覚」に陥るのは、日本という文化が私の中に創り上げた「何か」のおかげでしょう。CNASという文化の中で学んだ私達には、どんな本質が備わり、それがどんな広がりを見せているのか、想像するととても壮麗な気分になります。

新しい時代が、皆様にとって、健康で幸多き時代になりますようお祈り申し上げます。

兵庫県立大学同窓会 けやき会 2018年度決算書・2019年度予算案

【決算書】収入の部 (2018.4.1～2019.3.31) 2019年5月12日

費目	2018年度決算額	備考
会費		
2018年度 学部入	¥1,040,000	104名×¥10,000
2018年度 修士入	¥60,000	6名×¥10,000
2018年度 博士入	¥10,000	1名×¥10,000
2018年度 DNGL入	¥0	0名×¥10,000
平成10年度学部編入卒業生	¥10,000	1名×¥10,000
平成27年度学部入学生	¥10,000	1名×¥10,000
平成9年度学部卒業生	¥8,000	1名×¥8,000 (1期生のため)
平成23年博士修了生	¥10,000	1名×¥10,000
平成29年博士修了生	¥10,000	1名×¥10,000
雑収入	¥60	利子 (29+26+2+3=60円)
学友会(ウェルカムキャンパス事業)より還元金	¥233,500	
平成29年度臨床看護 研究支援センターより返金	¥54,797	
平成30年度臨床看護 研究支援センターより返金	¥15,962	
前年度繰越金	¥6,635,404	
収入合計	¥8,097,723	

【決算書】支出の部 (2018.4.1～2019.3.31)

費目	2018年度決算額	備考
I ホームページ		
作成費・年間管理費	¥86,400	
II 樺まつり 総会		
案内印刷・郵送	¥273,941	
消耗品費	¥0	
III 会報		
会報作成・郵送費	¥200,000	
IV 大学への研究活動支援	¥100,000	
V 事務		
消耗品費	¥751	
通信費	¥0	
VI CNAS 基金への寄付		
寄付金	¥2,000,000	
VII その他		
兵庫県立大学三大学合同懇親会旅費	¥76,540	3名分
交通費	¥1,380	
駐車場代	¥700	
振込手数料	¥648	
支出合計	¥2,740,360	

2018年度決算残高	収入総計	¥8,097,723
	支出総計	¥2,740,360
	差引残高総計	¥5,357,363
2018年度決算報告について監査を行い、以上相違ありません。		
	方田正道	
監査	服口優希	

【予算案】収入の部 (2019.4.1～2020.3.31) 2019年5月12日

費目	2019年度予算案	人数	会費
会費2019年度 学部入学	¥1,060,000	106	10,000
修士入学	¥90,000	9	10,000
博士入学	¥20,000	2	10,000
DNGL 入学	¥10,000	1	10,000
前年度繰越金	¥6,635,404		
収入総計	¥7,815,404		

【予算案】支出の部 (2019.4.1～2020.3.31)

費目	2019年度予算案	備考
I ホームページ		
年間管理費	¥87,000	
II 樺まつり 総会		
案内印刷・郵送	¥300,000	
消耗品費	¥50,000	
講師講演料・交通費	¥300,000	
III 会報		
会報作成・郵送費	¥270,000	
IV 大学への研究活動支援	¥100,000	
V 事務		
消耗品費	¥10,000	
通信費	¥10,000	
PC並びに周辺機器	¥119,124	Microsoft Office 365 Solo、ウィルスバスター各1年分含む
VI 寄付		
CNAS 基金	¥500,000	
VII 予備費	¥100,000	
支出総計	¥1,846,124	
収支差額	¥5,969,280	

兵庫県立大学同窓会 けやき会 CNAS基金 2018年度決算書

【決算書】収入の部 (2018.4.1～2019.3.31) 2019年5月12日

費目	2018年度決算額	備考
I 寄付		
寄付-1	¥2,000,000	兵庫県立大学同窓会けやき会
II その他	¥616,898	CNAS開学25周年記念行事からの返金
III 利息	¥10	5+1+4=10円
IV 前年度繰越金	¥201,901	
収入合計	¥2,818,809	

【決算書】支出の部 (2018.4.1～2019.3.31)

費目	2018年度決算額	備考
I 母校への寄贈		
寄贈-1	¥200,000	学術情報館 医中誌 Web 版
IV その他	¥1,200,000	CNAS開学25周年記念行事への寄付
II 振込手数料	¥216	
支出合計	¥1,400,216	

2018年度決算残高	収入総計	¥2,818,809
	支出総計	¥1,400,216
	差引残高総計	¥1,418,593
2018年度決算報告について監査を行い、以上相違ありません。		
	方田正道	
監査	服口優希	